様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その１）

# 警 察 署 協 議 会 会 議 録

田川警察署協議会

| | | |
|---|---|---|
| 開催年月日時 | 令和３年３月１８日　午後２時００分　から<br>令和３年３月１８日　午後２時４０分　まで | |
| 開 催 場 所 | 田川警察署３階会議室 | |
| 出　席　者 | 警察署協議会 | 会長以下９名 |
| | 警　察　署 | 署長、副署長、地域管理官、刑事管理官、<br>総務課長、生活安全課長、交通課長、警備課長 |

議　事　概　要

【会長挨拶（要旨）】

田川警察署の皆様には常日頃から田川地区の治安維持のために活動いただき感謝している。

委員の皆様には、それぞれの視点や立場から忌憚のない意見を申し出ていただき、本協議会が田川警察署の業務運営の一助になればと考えている。

【署長挨拶（要旨）】

日頃から警察への御理解と御協力に大変感謝している。

田川警察署は昨年１２月に田川地区の全市町村と安全安心協定を締結した。

この協定に基づき「被害者支援」「暴力団の排除」「防犯活動」に取り組みながら、田川地区の安全・安心の確保に努めたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症の脅威の中、先が見えない状況が続いているが、我々警察は社会情勢の変化に的確に対応し、治安維持を全うするという使命を署員一丸となって努力していく所存であるので、引続き皆様の力添えをお願いしたい。

【報告事項等】

１　田川警察署の治安概況（署長）

(1)　交通事故の発生状況

(2)　犯罪（刑法犯）の発生状況

(3)　交通事故の防止について

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要

(4)　少年非行防止について

(5)　昨年の主な検挙事例

(6)　ＡＬＬ田川安全安心プロジェクトについて

２　田川科学技術高校前交差点の信号改善について（交通課長）

昨年７月の協議会において改善要望のあった国道２０１号田川科学技術高校前交差点の時差式の信号機については交通量を鑑みて時差の秒数を延長している。今後も交通量等を見ながら調整していきたいと考えている。

【質疑応答】

○　委員から「要望していた時差式信号の交差点は時差の秒数を改善していただいて、とても通りやすくなった。大変感謝している。」旨の申し出があった。

○　委員から「信号機には矢印式や時差式などがあるが、設置場所にどのような違いがあるのだろうか」旨の質疑があり、署長から「右折レーンがお互いにあって相互に進行できるような交差点には右折矢印式が設置され、片方の右折需要が多い場合などは時差式となっている。」旨の回答があった。

○　委員から「先日、田川で無理心中があり、飯塚や篠栗でも子供が犠牲となる悲惨な事件が発生している。いずれも警察から通告を受けた児童相談所が対応していたという話だが、県警としても今後このような事件を防ぐための対策を考えているだろうか。」旨の質疑があり、副署長から「数年前から児童相談所と警察とで情報を共有できるようなシステムが導入され、以前に比べて情報共有が進んでいる。我々警察としてもこのようなシステムの活用を始めとして、各市町村との連携を図り、子供が犠牲となるような痛ましい事件を防止できるよう努めていきたい。」旨の回答があった。

○　委員から「最近の小中学生は、ＬＩＮＥ等のコミュニケーションツールを通じて面識のない者どうしの繋がりが想像以上に広がっていている。昨年田川警察署が大麻を所持していた中学生を捕まえたという話があったが、大麻のような薬物がＬＩＮＥ等を通じ子供たちにすぐに蔓延してしまうのではと危惧している。子供たちが事件に巻き込まれないよう予防策を講じたいと考えており、捜査情報等の情報共有は難しいかもしれないが、何か連携できるような方法はないだろうか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「警察としても情報共有は有効な対策の一つと考えており、スクールサポーターや少年補導員を通じて関係機関との情報共有を図っている。大麻に絡む事件は全国的にも若年化の傾向にあり、我々警

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

| 議　事　概　要 |
| --- |
| 察も慎重に捜査を行っている。犯罪予防の観点から情報共有を行うためのより効果的なアイデアがあればぜひ協力してやっていきたい。」旨の回答があった。<br>【閉会】<br>以上で警察署協議会を閉会する。 |

（Ａ４）